

東京国立 博物館 ニュース



「三彩鎮墓獣」

今号の名品



3ページに
掲載してるほ!



特別展 Information

「タイ ～仏の国の輝き～」

「フランス人間国宝展」「運慶」…… 2

「博物館でアジアの旅 マジカル・アジア」…… 4～5

東洋館の注目作品…… 6

総合文化展 Pick up!

(東洋館/本館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館) …… 7～11

保存と修理情報④ …… 9

みどりのライオン(教育普及事業) …… 12～13

トーハクくんのなるほトーハク …… 13

イベント&インフォメーション …… 14～15

2017年8・9月の展示・催し物 …… 16

TNM





多聞天立像

鎌倉時代・12～13世紀

京都・東福寺蔵

写真: 桑原英文

寺外初公開の像です。この像のほか、CTスキャン調査の成果は会場で公開します

興福寺中金堂 再建記念特別展 「運慶」

運慶作か？ 謎めく注目の作品

本展の作品の中で、国宝・重文に指定されていないのは、京都・東福寺の「多聞天立像」だけです。この像は平成16年(2004)に初めて紹介されました。和歌山・金剛峯寺の「八大童子立像」に似た童形であることが珍しく、運慶の作風にとっても近いのですが決め手はありません。その後研究が進んでいきましたが、この度X線CTスキャン調査を行うことになったので、手がかりが得られるかもしれません。

興福寺南円堂の「四天王立像」は、最近では当初北円堂に安置された運慶工房の作と見る説が有力になっています。北円堂に安置されている運慶作の「無著菩薩立像」・「世親菩薩立像」の

近くに展示しますので、運慶作かどうか、見比べて考えてみてください。

(浅見龍介)

●四天王立像のうち多聞天

鎌倉時代・13世紀

奈良・興福寺蔵(南円堂安置)

写真: 飛鳥園

ダイナミックな表現に運慶らしさを感じますが、果たして…?



関連イベント

記念講演会①

「興福寺と運慶—特に北円堂の諸像をめぐって—」

日時: 10月1日(日)
13:30～15:00(13:00開場)

講師: 多川俊映
(法相宗大本山興福寺貫首)

記念講演会②

「運慶展 最新調査報告」

日時: 10月28日(土)
13:30～15:00(13:00開場)

講師: 浅見龍介(当館企画課長)

会場: 平成館大講堂

定員: 各日380名
(当日11:30より、大講堂前にて指定席券を配布。1人2枚まで)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

9月26日(火)

11月26日(日)

平成館
特別展示室

日タイ修好130周年記念特別展

「タイ ～仏の国の輝き～」

国外初出品の大扉がトータルへ!

バンコクにあるワット・スタットという寺院の仏堂には、スコータイから運ばれてきた大仏が安置されており、その正面扉としてラーマ2世王が手がけたとされる華麗な彫刻を施した大扉が設けられました。大扉の彫刻は天界の雪山を表すとされ、複雑に枝茎を伸ばした花樹のあちこちに鳥獣や虫たちの姿が見出されます。ぜひとも、この名高い大扉をご覧ください。(猪熊兼樹)

関連イベント

*すべて会場は平成館大講堂、無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可。開場は開始の30分前)

記念講演会「仏の国の歩み」

日時: 8月5日(土) 13:30～15:00

講師: 猪熊兼樹(出版企画室主任研究員)

定員: 380名(当日11:30より、大講堂前にて指定席券を配布。1人2枚まで)

「タイ舞踊を体験してみよう!」

日時: 8月11日(金・祝) 14:00～15:00

講師: 花岡ソムシー

(日・タイ文化交流センター日本東京校校長)

ゲスト: はるな愛

定員: 380名(先着順)



ラーマ2世王作の大扉

ラタナコーシン時代・19世紀
バンコク国立博物館蔵

高さ5.6mを誇る巨大扉前では写真撮影OK!

| 開催概要 | 観覧料: 一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円)
*()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) / お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600 / 展覧会情報サイト <http://www.nikkei-events.jp/art/thailand/>

「フランス人間国宝展」

現代作品にみる フランス伝統技術の保護と継承

フランス人間国宝(メートル・ダール/Maître d'Art)とは、15年以上のキャリアを持つ希少な工芸技術の高度取得者に与えられる称号です。認定された職人は、自身の技術を一層高めその分野の発展に寄与することはもちろん、弟子を取りその技術習得を助けるという次世代の育成も重要な使命として課されます。メートル・ダール認定制度は、文化遺産の保護と創造を社会全体で助けるというフランスの文化政策の理念を、こうした技術継承の方法で体现しているのです。(熊谷美和)

関連イベント

フランス人間国宝認定者によるフォーラム、トークイベント、ワークショップなど多数イベントを予定しています。詳細は展覧会公式サイトをご確認ください。



グラス「チューリップ」

ロラン・ダラス 1992年
個人蔵 © Philippe Chancel
金属素材ながら柔らかに揺れる生命感のある作品です

| 開催概要 | 観覧料: 一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は7月1日(土)～9月25日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売 / お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600 / 展覧会公式サイト <http://unkei2017.jp/>

| 開催概要 | 観覧料: 一般1,400円(1,200円/1,100円)、大学生1,000円(800円/700円)、高校生600円(400円/300円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は7月1日(土)～9月11日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドにて販売 / お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600 / 展覧会公式サイト <http://www.fr-treasures.jp/>

今号の名品

2017年8-9月号

さんさいちんぼじゅう 三彩鎮墓獸 通年 東洋館5室

時が生み出した謎を秘め、時を超えて貴人を守る



さんさいちんぼじゅう
三彩鎮墓獸 中国 唐時代・7～8世紀 横河民輔氏寄贈

7世紀の終わり頃から8世紀の初頭に至り、唐三彩はその芸術性を一気に開花させます。そうして作られたものの一つであるこの三彩鎮墓獸は、唐の貴族にとってなくてはならない存在でした。これまで多くの貴族の墓から見つかっているのが、何よりの証拠です。

本品を見ていきましょう。蹄からすらりと伸びた前脚。肩のあたりに翼のようなものが生えています。胸を張り、顔はまっすぐこちらを向いています。向かって右は、口を大きく開いた2本角の獸面。左は大きな耳と角のように尖らせた髪が特徴の人面です。そして首から下は緑と白と褐色が鮮やかです。2体は各部位の表現や配色に違いがあります。一見して、なんとも凄味のある姿。しかし側面や後ろ姿は意外と線が細く、華奢な印象をうけます。制作者は、正面から見た姿に最も力を注いだのでしょう。その理由は、鎮墓獸の置き場所と特に深い関係があります。唐の貴族墓は地下に築かれます。

大地に穿たれた長い墓道をおりて墓門を開いたその奥、墓室に立ち入ろうとする者を睨みつけるような場所に置くので、正面が一番重要なのです。とはいえ、背面が重要なわけでは決してありません。本品の見どころの一つもこの背面。三彩が織りなす見事なまだら模様は、息をのむ美しさです。

鎮墓獸という名称は、現代の研究者がつけたものです。出土例では「祖明」と墨書した鎮墓獸があり、この名は738年に完成した「大唐六典」という唐の制度集にも登場します。一方で、記録はいつも十全とは限りません。鎮墓獸はなぜ阿吡で、なぜ獸面と人面なのでしょう。また、左右の立ち位置に決まりがあったのでしょうか。当時は当たり前の事柄だったからか、これらに関する記録は残されていません。千年を超える時の流れは、かつての常識を大いなる謎にかえてしまいました。ただ鮮やかな三彩だけは往時のままだに、その美しさを今に伝えているのです。

(市元壘)



背面もお見逃しなく。三彩らしい美しい色あいをご覧ください

『東京国立博物館ニュース』
★8・9月のスタンプ設置場所…
東洋館インフォメーション
※スタンプ帳の配布は終了しました。

しょうそう ずがいこつ
肖像頭蓋骨

ニューギニア 19～20世紀
N. G. マンロー氏寄贈

亡くなった首長の頭蓋骨に靈魂が宿ると考え、生前の姿を再現して大切に祀りました

靈魂を宿す
頭蓋骨



特集「アジアの祈り」

東洋館13室

アジアの美術の中には、健康や富を望み、災厄を避けるための、吉祥と呼ばれるめでたいデザインがある一方で、呪術や迷信、民間信仰などと呼ばれるものもあります。この特集では、普段は展示する機会が少ない作品もご覧いただけます。

今年のテーマは「マジカル・アジア」。アジア各地の吉祥、魔除け、呪いなど、不思議なパワーにまつわる作品を紹介します。研究員によるスペシャルツアーやナイトミュージアムなど、イベントも充実！この秋はマジカルな館、東洋館でお楽しみください。

博物館でアジアの旅
マジカル・アジア



マジカルがテーマ、3つの特集

特集「チベットの
仏像と密教の世界」

東洋館12室

たくさんの顔や手足を備え、骸骨や武器を手にする恐ろしい表情の仏たち。仏教の最終形態であるチベット密教では、見る者を圧倒する特異な姿の仏像が信仰を集めました。より強力な仏を求めて生み出された聖なる形と、その信仰世界にご注目ください。



仏を生み出す
仏

ヴァジュラバイラヴァ
父母仏立像

中国 清時代:17～18世紀 東ふさ子氏寄贈
男女が抱擁する姿の仏像を父母仏といいます。この2人から他の仏たちが生まれると考えられていました

9月5日(火)

10月15日(日)

関連イベント

*すべて参加無料(ただし、9月18日を除き当日の入館料が必要)、特記以外は事前申込不要です。

スペシャルツアー

「セブンワンダーツアー」
添乗員は「トールハク研究員」

7人の研究員が「マジカル・アジア」をキーワードに、60分間の東洋館の旅へご案内します。

■9月6日(水) 14:00～15:00
「佛の魅力を探索の旅」
三笠景子(東洋陶磁史)

■9月9日(土) 14:00～15:00
「南極聖人の奇妙な旅」
猪熊兼樹(工芸史)

■9月10日(日) 14:00～15:00
「呪いのパワーを探索の旅」
白井克也(東アジア考古学)

■9月12日(火) 14:00～15:00
「幻獣を探索の旅」
勝木言一郎(東洋美術史・東西文化交流史)

■9月15日(金) 18:30～19:30
「不思議なマネーを探索の旅」
市元壘(東洋考古)

■9月16日(土) 18:30～19:30
「この世とあの世をめぐると旅」
小野塚拓造(西アジア考古学)

■9月18日(月・祝) 14:00～15:00
「願いを叶える仏像の旅」
西木政統(彫刻史)

集合場所:東洋館エントランス
*展示室をめぐるツアーです。歩きやすい靴でご参加ください



特集「唐三彩」

東洋館5室

厚葬が流行した中国・唐時代に一世を風靡した「唐三彩」。緑や黄、藍色といった鮮やかな釉で華麗に彩られた人物や動物をかたどったやきもの(俑)が、時には一つの墓に数百も埋納されました。今回は埋納された唐三彩を中心に展示します。



唐三彩女子

中国 唐時代:8世紀 鈴木榮一氏寄贈
死後も不自由なく暮らせるように、と願って俑を墓に納めました。この像はその中でもとくに写実的です

いつまでも一緒に…

勝利を祈る布

ヒンギ・コンブ(肩衣)

インドネシア スンバ 19世紀
東洋館13室 展示は9月24日(日)まで
スンバ島で、部族間の戦いで行われた首狩り。首架にまつられた首の文様の肩衣をつけることで、勝利を祈ったのです



(部分)

お金持ちになりたい!

熨斗

中国 後漢時代:1~3世紀
東洋館5室

後漢時代に流行した貨幣印のアイロン。蓄財のまじないか、それとも錬金術の小道具か?

まだまだある! 「マジカル・アジア」な作品

「眼の偶像」

シリア テル・ブラク出土 後期銅器時代(3期):前3800~前3600年頃
古澤静子氏寄贈
東洋館3室

北メソポタミアの神殿に奉納された謎の小像。邪視(見つめることで呪いをかける魔力)を遠ざける効果があったとか?

邪視除けのアイテム?



魂が小さな鉄拐として描かれています

魂を出し入れできる仙人



鉄拐図軸

(寒山拾得蝦蟇鉄拐図軸のうち)

伝劉俊筆
中国 明時代:16世紀
東洋館8室

瓢箪を通じて、自分の魂を体から出し入れする鉄拐。魂を遊ばせている間に体を処分されてしまったこともあるかわいそうな仙人です

事前申込制

ナイトミュージアム親子で東洋館探検!

作品を見てクイズに挑戦! みんなで力をあわせてゴールを目指す、夜の博物館探検にいかがでしょうか。

日時:9月18日(月)祝 18:00~19:30(17:30集合)
会場:東洋館
対象:小学生とその保護者
*詳細は本誌12ページ参照



気軽に椅子ヨガ in 東洋館

東洋館で仏像に囲まれながら、椅子に座ってできるヨガを体験してみませんか。

日時:9月29日(金) 18:00~18:30、19:00~19:30(各回15分程度)
会場:東洋館1室
*詳細は本誌14ページ参照

ボランティアによる東洋館関連ガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、たてものガイドなどを「博物館でアジアの旅」特別バージョンで実施します。詳細は本誌カレンダー(16ページ)をご覧ください。

アジアの伝統音楽

東洋館展示室内で行う演奏会です。トーハクならではの環境でアジアの音楽をお楽しみください。

■コムズの演奏

9月8日(金) 15:00~15:30、17:00~17:30

出演:ウメトバエワ・カリマンほか

■中国琵琶の演奏

9月14日(木) 13:30~14:00、15:30~16:00

出演:シャオロン

会場:いずれも東洋館1室

アジアン屋台

アジア料理を中心としたケータリングカーが東洋館前に登場します。

今こそ見ておきたい！ 東洋館の注目作品

「博物館でアジアの旅 マジカル・アジア」(→4ページ)の期間中、東洋館には不思議なものがいっぱい！でも、見どころの多い東洋館、それ以外にも注目いただきたい作品があります。そこで、特にオススの作品を研究員がご紹介。どうぞお見逃しなく。

この大胆な醍醐味
朝鮮絵画の醍醐味



独釣図軸

伝姜希猛筆 朝鮮
朝鮮時代・15-16世紀
小倉コレクション保存会寄贈
東洋館10室
8月8日(火)～9月24日(日)

朝鮮半島の絵画の魅力の一つに、中国大陸の影響を受けつつ、それに独特の飄逸さを加えた点が挙げられます。この作品の古木や岩、葦の表現に見られる粗々しい筆遣いは、当時の中国大陸で流行していた浙派画風をふまえています。大胆に単純化した素朴な面白みが感じられます。当時の朝鮮の人々の美意識がわかる山水画の佳品です。

ここに注目！

隠逸な生活は、
当時の文化人の憧れ！
この作品にはまさに彼らの
理想が描かれています。

(植松瑞希)

小さな国の
特徴ある土器



高杯

押督 朝鮮
三国時代(新羅)・5世紀末
徳川頼貞氏寄贈
東洋館10室
～10月15日(日)

朝鮮半島の三国時代、高句麗、新羅、百済が競い、加耶諸国もこれに加わっていましたが、実は各国とも内部に小国を抱えていました。この高杯は、現在の太田を中心としていた押督という小国の土器で、新羅の勢力にありながら、独自の文化を保っていました。ほかにも阿羅、古自、比斯伐、金官という小国の土器を展示しています。

ここに注目！

円錐形の杯・蓋、
脚の大きな透しは、押督
の特徴です！

(白井克也)

中国では金魚は
富の象徴？



瑪瑙金魚

中国 清時代・19世紀
神谷伝兵衛氏寄贈
東洋館9室
～10月29日(日)

瑪瑙で作られた何匹もの金魚が数珠繋ぎとなっています。それぞれの金魚の口からしっぽに穴を開けて1本の糸を通してあります。中国では非常に古くから魚のモチーフが好まれてきました。その理由としては中国語の「魚」の発音が「余」に通じることから、余裕がある——すなわち富を意味する吉祥のシンボルということが考えられています。

ここに注目！

色をつけているのではなく、
瑪瑙の赤と白の色調をいかし
て金魚のまだらを表現！

(猪熊兼樹)

来歴もすごい、
まばゆく輝く袈裟



(部分)

九条袈裟 紫地唐草文様印金 草花文様絛絲

中国 伝春屋妙葩所用
元～明時代・14世紀
東洋館5室
～9月24日(日)

中国・南宋の禅僧・無準師範が弟子の無学祖元に贈り、最終的には相国寺第二世・春屋妙葩が相伝したと伝えられています。時代を感じさせる舶来の袈裟は、中国の高僧から教えを伝えられた証として大切なものでした。どんな文様かわからないくらいに傷んでいるにもかかわらず、大切に伝えられてきたことがしのばれます。

ここに注目！

お坊さまがつけたとは
信じがたい華やかな色彩と、
煌びやかな印金の輝き！

(小山弓弦葉)

Pick up!

東洋館

夏休みの宿題のつよい味方

トキ像ずう

10月22日(日)

3室 西アジア・エジプトの美術



トキ像

トゥーナ・アル=ジャバル出土
プトレマイオス朝時代・前323～前30年頃
エジプト文化情報省寄贈

「学問の神様」トトを表す小像。トキが夏休みの勉強を応援します

アフリカクロトキの小像。このトキは首から上とお尻の先が黒いのが特徴で、本作品はその部分を青銅で作って出しています。古代エジプトでは、トキは「学問の神様」であるトトの神性を表す聖動物として敬われました。第26王朝時代以降(前7世紀中頃)には、聖動物を奉納する宗教的な儀礼が広まり、トキやハヤブサ、ネコなどのミイラや小像が多く作られました。この像が出土したトゥーナ・アル=ジャバルは、動物のミイラや小像を埋納する大規模な地下墓地があったことと知られています。(小野塚拓造)

東洋館

売るために描いた訳ではありません

「墨の戯れ」
—文人の愛した植物たち—

7月25日(火)～9月3日(日)

8室 中国の絵画

(部分)



老松図軸
金湜筆 中国
明時代・天順2年(1458)

光沢のある絹(ぬめ)という素材に、繊細な墨のグラデーションが美しく映えています

冬でも青さを保つ松と竹、寒中に花を咲かせる梅、山谷で人知れず香りを放つ蘭、これらはいずれも君子の徳を体現する植物と考えられてきました。文人たちはこれらの植物を好んで描いています。彼らにとって絵画はあくまで高尚な「遊び」であり、職業画家が生活のために描く作品とは区別して、「墨の戯れ」であることを重視しました。

15世紀に寧波で活躍した文人・金湜が、大きな松の一部を大胆に切り取った作品「老松図軸」も、この文人墨戯の伝統に属しています。(植松瑞希)

本館

独特な和様の筆致を味わう

特集「近衛信尹と三藐院流の書」
—近世初期の名筆—

8月29日(火)～10月9日(月・祝)

特別1室



源氏物語抄 近衛信尹筆
江戸時代・17世紀 長谷川巳之吉氏寄贈
三藐院流の書の特徴がよく表れています

近衛信尹(1565～1614)は、本阿弥光悦、松花堂昭乗とともに、「江戸初期の三筆」に称えられます。信尹は、五摂家筆頭の近衛家の当主でありながら、書や「渡唐天神自画賛」のような自画賛をたくさん揮毫しました。自由闊達で雄渾な信尹の書風は、平安時代の和様の書を基礎にして発展させたもので、三藐院流と呼ばれて流行しました。本特集では、近衛信尹の書の魅力をご紹介しますとともに、信尹の書風を引き継いだ近衛信尋の書など三藐院流の書をご紹介します。(恵美千鶴子)

本館

想像がふくらむ！
屏風の新しい楽しみ方親と子のギャラリー
「びよつぶとあそぶ」

9月3日(日)

特別4室・特別5室



会場にはさまざまな工夫を施しています。おとなも子どもも楽しめる、新しい美術体験が待っています

夏休みは、名画の高精細複製にダイナミックな映像をプラスしたアート体験をお楽しみください。

第1会場は「松林であそぶ」。くつを脱いで畳に座り、長谷川等伯の「松林図屏風」をのんびり眺めましょう。絵の向こうにはどんな景色が広がっているの？ 想像力を刺激する映像が、屏風を見る楽しみを広げます。

第2会場は「つるとあそぶ」。尾形光琳の「群鶴図屏風」に描かれた鶴が展示室に舞い降ります。絵の中の鶴とあそびにきてください。(小林牧)

本館

いきいきと描かれた
市井の人々や風景にも注目

国宝 一遍聖絵 巻第七

8月29日(火)～9月24日(日)

2室 国宝室



(部分)

●一遍聖絵 巻第七

法眼円伊筆 鎌倉時代・正安元年(1299)

一遍の来訪を知った都の人々が、彼の滞する市屋道場に集う様子です

鎌倉時代の中頃、踊念仏を広め、時宗の祖となった一遍(1239～1289)の事跡を描いた絵巻。絵巻としては珍しく絹に描かれており、一遍の没後10年の正安元年(1299)、聖戒という人物が詞書を記し、円伊という絵師が絵を描いたことが知られます。

巻第七は、日本全国をめぐる、念仏の教えを説いた一遍が京都に滞在する場面を描きます。身分の上下、老若男女を問わず、多くの人々が一遍に教えを乞う様子とともに、当時の都の風俗などにもいきいきと描かれています。

(土屋貴裕)

本館

「一遍聖絵」とあわせて見たい!

重文 遊行上人縁起絵巻 甲巻・乙巻

8月22日(火)～10月1日(日)

3室 仏教の美術／宮廷の美術



(部分)

時宗の開祖一遍と、彼の教えを引き継いだ二祖他阿(1237～1319)の事跡を描く絵巻です。同じく一遍の事跡を描く国宝「一遍聖絵」に比べ、多くの作例が確認されていますが、本作はそのなかでも失われた原本に近いものとして高い評価を得ています。

●遊行上人縁起絵巻 乙巻

鎌倉時代・14世紀 田中親美氏寄贈 信濃の善光寺に参詣する他阿たち。先頭を進むのが他阿です

この2巻には尾張の甚目寺や信濃の善光寺など、一遍や他阿が布教した名所や寺院の様子が表されています。国宝室での「一遍聖絵」の公開にあわせて、甲巻(3-1室)・乙巻(3-2室)の2巻同時公開です。聖絵とともにどうぞお見逃しなく。(土屋貴裕)

本館

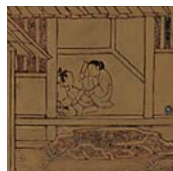
秋の夜、旅先に漂う寂寥感

重文 砧蒔絵硯箱

8月24日(日)

12室 漆工

硯箱は、硯や水滴、筆・墨・小刀などの筆記用具を収める箱です。文章を著すことに関係するためでしょうか、硯箱には和歌などの文学と関連した意匠が数多く見られます。



(蓋裏部分)

気までが感じられます。
(竹内奈美子)



●砧蒔絵硯箱

室町時代・16世紀

蓋の裏側を返すと、和歌のとおり砧を打つ男女の姿が描かれています

本館

細かな部分も丹念に描く、
愛娘へのやさしいまなざし

重文 麗子微笑

8月10月1日(日)

18室 近代の美術



●麗子微笑

岸田劉生筆 大正10年(1921)

エジプト絵画のようにも見えるおかつば頭と青果を手に持つ姿

ジャーナリスト・岸田吟香の子として、東京銀座に生まれた劉生は、ルネサンス期にドイツで活躍したアルブレヒト・デューラーに傾倒し、油彩による細密で徹底的な写実表現を追い求めました。

劉生は、愛娘の麗子を、生まれて間もないころから数多く描き続けました。本作は満7歳の時の肖像で、10日ほどで描き上げられました。肩掛のほつれる毛の様子も丹念に描かれています。レオナルド・ダ・ヴィンチの《モナ・リザ》との関連も指摘されていますが、微かにほほ笑む表情には神秘性が宿ります。(松嶋雅人)

Pick up!



はにわ たてもちびと
埴輪 盾持人
群馬県太田市
藪塚町 若水塚古墳
出土
古墳時代・6世紀
身を挺して邪を払っ
たのでしょうか、
体が傾いています

「博物館でアジアの旅」(→4ページ)にちなみ、「マジカル古代日本」ともいべき作品をご紹介します。

こちらは盾を持つ男性の埴輪。盾は円筒の左右に鱗状に表されています。手や足が表現されていないのは、盾が低いからだとする説も。盾持人の埴輪は、盾を古墳の外側に向けた状態で出土することが多く、邪悪なものから古墳を守っていました。耳が大きいのは、邪悪なものが近づくのをすばやく察知するため。笑みも浮かべるのは、笑いによって邪を払ったからだと考えられています。(河野正訓)

平成館

平成館でも「マジカル・アジア」

埴輪 盾持人

通年

考古展示室

法隆寺宝物館

本当はどれを指す?
時を超えた名前の行方

金山寺香炉

通年

第5室



金山寺香炉
高麗時代・大定18年(1178)
現在の韓国全羅北道にあった金山寺の
弥勒像のために作られました

台座周縁の銀象嵌銘「大定十八年戊戌五月日造金山寺大殿弥勒前」から「金山寺香炉」と呼ばれる香炉。ところがこの名称、本来は全く別の器形に用いられていた名前なのです。南宋時代の重文「支那禅刹図式(大宋諸山図)」(京都・東福寺蔵)には現在「蟠足香炉」と呼ばれているタイプの香炉に「山門香炉 金山様」「金山寺様」と書かれており、伝統的な呼称として「金山寺香炉」と言えば蟠足形の物をさしていたことがわかります。生まれも形も違う香炉を同じ名前で呼ぶ点に歴史の妙味を感じる作品です。(末兼俊彦)

黒田記念館

画学修業初期の澄んだまなざし

自画像(トルコ帽)

8月8日(火)〜9月24日(日)

黒田記念室



自画像(トルコ帽)
黒田清輝筆 明治22年(1889)
お気に入りのトルコ帽で、レンブラント気取り

黒田清輝23歳、花の都パリで本格的に絵を学び始めたばかりの頃の自画像です。サインもなく、おそらくは描きかけのまま残された小品ですが、こちらを見つめる澄んだまなざしが印象的な1点です。この時期、黒田はオランダ絵画の巨匠レンブラントに傾倒し、模写を試みています。大きく明暗をとらえたこの作品も、きつとレンブラントの数多ある自画像を意識して描いたものでしょう。ちなみに黒田がかぶっているトルコ帽は、5年前の渡仏の途上で買い求めたもので、ずいぶんとお気に入りのアイテムだったようです。(東京文化財研究所・塩谷純)

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 42

国宝・重要文化財新指定
における調査協力

毎年新しく国宝・重要文化財が指定されますが、当館では文化庁とともに指定候補に挙がっている一部の作品についてX線撮影などの指定に向けて多くの情報を整える作業を行っています。昨年から調査結果の画像を「新指定 国宝・重要文化財」の展示内でパネルにて紹介するようになりました(平成29年の展示は終了)。今年も工芸と彫刻の分野でX線CTによる調査を行い、構造や製作技法に関わる多くのことを確認できました。作品に内包している新旧の情報を取り出し、多くの方が作品をより深く理解し、作品を保存し、後世に伝える取り組みに繋がればと考えています。(荒木臣紀)



X線CTによる南宮神社所蔵
「木造神像」の調査風景

9月

展示案内

- 1-1: 日本美術のあけぼの—縄文・弥生・古墳
 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
 2: 国宝室
 3-1: 仏教の美術—平安～室町
 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
 4: 茶の美術
 5-6: 武士の装い—平安～江戸
 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
 9: 能と歌舞伎
 10: 浮世絵と衣装—江戸
 11: 彫刻
 12: 漆工
 13-1: 金工
 13-2: 刀剣
 13-3: 陶磁
 14: 特集
 15: 歴史の記録
 16: アイヌと琉球
 (17: 保存と修理)
 18: 近代の美術



8/1(火)-10/22(日)
草花時絵菓子器

谷田忠兵衛作 江戸時代・18世紀
 伊藤甲子之助氏寄贈
 作者は徳島藩主蜂須賀重喜の御用を勤め、彩り豊かな作風で知られます



8/1(火)-10/22(日)
茄子に富士三保松原図水滴
 (駿河名物)
 江戸時代・18～19世紀
 渡邊豊太郎氏・渡邊誠之氏寄贈



-8/6(日)
○免道朝嗽図
 木米筆
 江戸時代・文政7年(1824)
 (部分)



8/8(火)-9/18(月・祝)
書状
 徳川光圀筆
 江戸時代・17世紀
 あの戸黄門が紀州藩の重臣に宛てて出した手紙



9/20(水)-10/29(日)
○葡萄図
 立原杏所筆
 江戸時代・天保6年(1835)
 水戸藩士の杏所が主君の御前で酔いにまかせて描いたといえます



-8/20(日)
大燈国師上堂語
 一休宗純筆 室町時代・15世紀
 中島洋一氏寄贈

8/22(火)-10/1(日)

○蘭恵同芳図

玉畹梵芳筆
 南北朝時代・14世紀
 蘭を好んで描いた禅僧、梵芳の作。
 蘭葉のなす曲線は勢いがあり美しい



-9/18(月・祝)

○青磁琺瑯花入

中国・南宋官窯 尾張徳川家伝来
 南宋時代・12～13世紀
 広田松繁氏寄贈

古い玉器に倣った形。厚く掛けられた釉と全面に走る貫入が印象的です



9/20(水)-12/25(月)

青井戸茶碗 土岐井戸

朝鮮 朝鮮時代・16世紀
 広田松繁氏寄贈

-8/27(日)

紅糸威二枚胴具足

江戸時代・17世紀
 サザエの形の兜がとても印象的です



9/5(火)-11/26(日)

○太刀 銘 助真

鎌倉時代・13世紀

沃懸地菱紋時絵螺鈿打刀(●太刀 銘 助真の拵)

江戸時代・19世紀

紀州徳川家伝来の太刀で、江戸時代の豪華な刀装も展示します



-8/6(日)

○鶺鴒図屏風

狩野探幽筆 江戸時代・17世紀
 東京・大倉集古館蔵

8/8(火)-9/18(月・祝)

○山水図屏風

彭城百川筆
 江戸時代・延享4年(1747)
 南画の先駆者・百川による細かい筆と点の集積による大作

(部分)



9/20(水)-10/29(日)

牛図屏風

森徹山筆
 江戸時代・19世紀
 動物を得意とした徹山。銀地に映える写実的で迫力満点の牛に注目!

(部分)

本館 2F:1~10



(部分)



-12/25(月)

壇輪 盛装の男子

群馬県太田市 四ツ塚古墳出土
 古墳時代・6世紀

壺形土器

大阪府柏原市 藤井寺市
 船橋遺跡出土
 弥生時代(中期)・前2～前1世紀
 田村淳正氏寄贈

櫛描簾状文(くしがきれんじょうもん)が施されたこの壺には、弥生人のリズムが直に刻まれています



(部分)



-8/20(日)

●賢恵経(大聖武)

伝聖武天皇筆
 奈良時代・8世紀

(部分)

8/22(火)-10/1(日)

色紙金光明最勝王経断簡

伝聖武天皇筆 奈良時代・8世紀

薄藍の染紙に金光明最勝王経を書写した色変りの美しい色紙経



(部分)



(部分)



(部分)

8/1(火)-8/27(日)

●延喜式

巻四紙背文書

平安時代・11世紀

法令書の裏面に残された平安時代の数少ない仮名書状

8/29(火)-9/24(日)

●一遍聖絵 巻第七

法眼円伊筆
 鎌倉時代・正安元年(1299)
 →P8

9/26(火)-10/22(日)

●法華経一品経 妙莊

鎌倉時代・13世紀
 埼玉・慈光寺蔵
 金銀切箔、砂子散らしの料紙に、金銀泥の芦手絵・文字を配しています

8/22(火)-10/1(日)

○虚空蔵菩薩像

鎌倉時代・13世紀
 武藤山治氏寄贈

伊勢・朝熊山権現の本地仏として描かれた、彩色の美しい作例



-10/1(日)

○慈恵大師坐像

蓮妙作
 鎌倉時代・弘安9年(1286)
 滋賀・金剛輪寺蔵



(部分)



(部分)

-8/20(日)

○男衆三郎絵巻

鎌倉時代・13世紀
 教科書にもよく掲載される笠懸(かさがけ)の様子

8/22(火)-10/1(日)

○遊行上人繰起絵巻 乙巻

鎌倉時代・14世紀
 田中親美氏寄贈
 →P8



-9/3日

◎染付龍濤文提重

青木米作 江戸時代・19世紀
笠置達氏寄贈
主題の文様を中国・明時代の青花磁器に倣った重厚な一作です



9/5日-11/26日

◎色絵牡丹文蓋物

伊万里(柿右衛門様式)
江戸時代・17世紀

13-3



8/8日-10/15日

◎小袖 白繪子地菊網文字模様

江戸時代・18世紀
大胆に漢詩の文字を散らした、いわゆる元禄小袖



-8/6日

◎帷子 黒麻地水割紅葉文字模様

江戸時代・18世紀

10
衣装

-8/27日

◎舞楽面 崑崙八仙

平安時代・長久3年(1042)
奈良・手向山八幡宮蔵
への字に結んだように見える口、実はくちばしです



8/29日-12/3日

◎文殊菩薩坐像

文殊菩薩騎獅像
および侍者立像のうち)

康円作 興福寺伝来
鎌倉時代・文永10年(1273)

いつもは見上げる文殊菩薩。獅子から降りた姿を目の前でご覧いただけます

14

本館 1F: 11~16, 18

7/25日-10/22日

◎伝 源 頼朝坐像

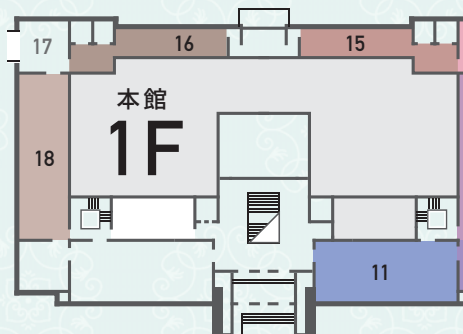
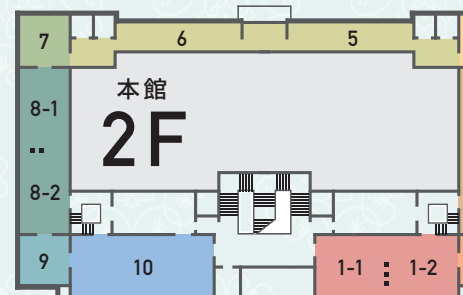
鎌倉時代・13~14世紀
武士の肖像彫刻の代表的な作例。本堂に源頼朝かどうかは検討の余地があります



◎十一面観音菩薩立像

平安時代・9世紀
柔らかさと鋭さをあわせもつ、平安初期木彫像の彫り口に注目です

11



-8/6日

◎スリナム産昆虫変態図譜

(フランス語版) A.M.S.メリアン著
1726年
シーボルト寄贈

8/8日-10/1日

◎大名行列人形

山田幾右衛門作 明治時代・19世紀
御用槍師の山田幾右衛門が製作した346体の大名行列を模した人形です



15



-9/24日

◎硯箱 硯箱

室町時代・16世紀
→P8



9/26日-12/25日

◎扇散時絵手箱

室町時代・15世紀
時絵手箱の代表作。扇面に描き込まれた画の中画をつぶさに見るのも一興です

12



-9/3日

◎居瓶

沖縄本島 壺屋焼
第二尚氏時代・19世紀
琉球のお祝いごとで飲まれた泡盛。居瓶はその容器として活躍しました

9/5日-11/26日

マレク 北海道アイヌ 19世紀 徳川頼貞氏寄贈



16



-9/18日・祝

◎五結杵

鎌倉時代・13世紀
密教の修法(すほう)に用いられる法具。仏の智慧が強固なことを象徴します



9/20日-12/25日

◎自在龍置物

明珍宗察作
江戸時代・正徳3年(1713)

13-1



-10/1日

◎麗子微笑

岸田劉生筆 大正10年(1921)
→P8

8/22日-10/1日

◎熱国之巻(暮之巻)

今村紫紅筆 大正3年(1914)
明るい彩色と細かな金箔が、インドの街の熱気と活気を感じさせます



18

-10/15日

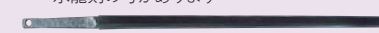
◎太刀 銘 三条(名物 三日月宗近)

平安時代・10~12世紀 渡邊誠一郎氏寄贈



◎直刀(号 水龍剣)

奈良時代・8世紀
伝世品としては極めて少ない奈良時代の刀剣で、水龍剣の号があります



13-2



-8/6日

◎長絹 紺地牡丹唐草蝶鳥模様

江戸時代・18世紀



8/8日-10/15日

◎肩衣 黒麻地波兔牡丹唐草州浜笹模様

江戸時代・19世紀
名物裂「花兎文金襴」にヒントを得た、ユニークな「波に兎」の文様

9



8/8日-9/3日 (部分)

◎品川座敷の遊興

鳥居清長筆 江戸時代・18世紀
品川の海を望む二階座敷での遊興の様子。こんなに騒いで大丈夫?



-8/6日 (部分)

◎歌舞伎図屏風(右隻)

菱川師宣筆 江戸時代・17世紀

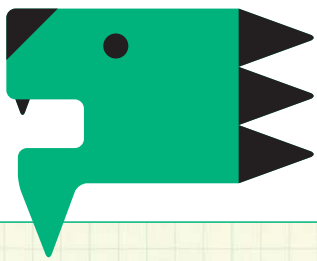


9/5日-10/1日

◎よしはらの鉢

菱川師宣筆 江戸時代・17世紀
吉原遊び12枚セットの冒頭。これから出発、お侍は顔を隠しています

10
浮世絵



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会「聖徳太子の伝説と法隆寺献納宝物」

日時：8月12日(土) 13:30~15:00

講師：三田覚之（教育普及室研究員）

様々な伝説に彩られた献納宝物。普段の解説では触れられない信仰の側面から作品を読み解きます。

三彩ってカラフルで
すてきだよ！



月例講演会「唐三彩」

*関連展示：本誌5ページ

日時：9月30日(土) 13:30~15:00

講師：三笠景子（平常展調整室主任研究員）

目にも楽しい、色鮮やかなやきもの唐三彩。

その色、かたちの不思議な魅力に迫ります。

*会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料（ただし、当日の入館料が必要）

*開場は開始の30分前（予定）

ギャラリートーク

甦る飛鳥時代の白虎！

日時：8月4日(金) 18:30~19:00 法隆寺宝物館第6室

講師：三田覚之（教育普及室研究員）

法隆寺の染織品に描かれた飛鳥時代の白虎。キトラ古墳や高松塚古墳よりも様式的に古い国内最古級の絵画について解説します。

金石に魅せられた書人たち

日時：8月22日(火) 14:00~14:30 東洋館8室

講師：六人部克典（登録室アシエイトフェロー）

青銅器や石碑など金石の書に親しみ、従来のスタイルを一変させた碑学派の書の魅力をお伝えします。

わたしも
三筆をめざすわ



江戸初期の三筆 近衛信尹の書

*関連展示：本誌7ページ

日時：8月29日(火) 14:00~14:30 本館特別1室

講師：恵美千鶴子（百五十年史編集室長）

江戸初期の三筆と称される近衛信尹の書と、流行した信尹の書風・三藐院流の書をご紹介します。

浮世絵の歴史

日時：9月26日(火) 14:00~14:30 本館10室

講師：田沢裕賀（学芸研究部長）

江戸時代初期の肉筆浮世絵から幕末の広重、国貞まで、浮世絵の歴史を時代を追って概観します。

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク

びんがた
紅型ができるまで

9月10日(日)・17日(日)・24日(日)、

10月3日(火)・10日(火)・17日(火) 各回15:30~15:50

解説：山田麻緒、大小田万侑子、月村紀乃 本館19室

本館19室 みどりのライオンで展示中の工程見本を制作するにあたり、調査や復元を通してわかった技法や表現について、制作を担当した藝大生がお話しします。



事前申込制 [はがき]

連続講座 日本における美術史学の誕生

日本における美術史学はどのようにして誕生したのでしょうか。それを知る手がかりの一つが明治34年(1901)に刊行された『稿本日本帝国美術略史』です。この『稿本日本帝国美術略史』の展示(10月3日(火)~11月26日(日)/本館15室)を機に、今年の連続講座では日本や東洋における美術史学の歴史を振り返ります。

◆11月17日(金)

13:30~14:30 「日本美術史誕生の時代」

講師：田沢裕賀（当館学芸研究部長）

14:45~15:45 「明治時代の日本美術史編纂」

講師：三輪紫都香（当館百五十年史編集室アシエイトフェロー）

16:00~17:00 「『書ハ美術ナラス』と明治期東京国立博物館の

書跡収集・展示の歴史」

講師：恵美千鶴子（当館百五十年史編集室長）

◆11月18日(土)

13:30~14:30 「100年前の東西文化交流史研究が目指したもの」

講師：勝木言一郎（当館教育講座室長）

14:45~15:45 「器形の継承と変容にみる工芸史」

講師：末兼俊彦（当館平常展調整室主任研究員）

16:00~17:00 「帝室技芸員―“技芸”と“美術”のはざまで」

講師：塩谷純（東京文化財研究所 近・現代視覚芸術研究室長）

会場：平成館大講堂 定員：380名（事前申込制、応募者多数の場合は抽選）
聴講無料（ただし、初日の入館料が必要。2日目は初日にお渡しする受講券でご入館いただけます。なお、受講券で特別展の観覧はできません。）

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に①参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、②代表者の郵便番号・住所・電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。*1枚のはがきで、最大2名まで申込可

申込締切：10月10日(火) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係

お問合せ：03-3822-1111(代) 教育講座室

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ナイト・ミュージアム

親子で東洋館探検！

「博物館でアジアの旅」(→4ページ)に関連したファミリー向けワークショップです。作品を見てクイズに挑戦！ みんなで力をあわせてゴールを目指す、夜の博物館探検にでかけましょう。



日時：9月18日(月・祝) 18:00~19:30 (17:30集合)

会場：東洋館

対象：小学生とその保護者

定員：30組（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申し込みください。

申込締切：8月31日(木) 必着

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)

教育普及室



「博物館でお花見を」(2017年3月14日～4月9日)の関連企画、東博句会「花見で一句」にて、俳句の募集をしました。開催期間中、館内の投句ポストに一般の部327句、小学生以下の部48句のご応募をいただきました。ご投句いただきましたみなさま、ありがとうございます。

- 一般の部**
館長賞 花愛づる 異人楽しや ミュージアム 玉豊
副館長賞 風鳴らす 寒緋桜の 紅の鈴 平松うさぎ
つくばひに 花を浮かせて 転合庵 石井 エイ
- 桜賞**
この時と ポーズきめたる エドヒガン 柿田 美江
友禅の 水面に映る 桜かな 林 憲二
花さかず 浮世絵ながめ 花見とす 中村 彩乃
- 小学生以下の部**
館長賞 びょうぶから みんなでこい まんかいだ 上田 真結香
副館長賞 土ぐうがね 花をみたいと せまりくる 上田 愛友里
(敬称略)

博物館でお花見を「花見で一句」入選作品発表

3 P A R T

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

勾玉作り・ファミリーで勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。



①勾玉作り

日時：10月1日(日) 13:30～15:30

②ファミリーで勾玉作り

日時：11月5日(日) 13:30～15:30

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：①高校生以上 ②小学3年生～中学生とその保護者

定員：①20名程度(応募者多数の場合は抽選)

②7組程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームから往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(①は2名まで、②は5名まで)の氏名・ふりがな、②の場合は学年、(2)参加者の郵便番号・住所(①は参加者全員、②は代表者)、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：①9月4日(月) 必着 ②10月2日(月) 必着

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室

①「10月1日勾玉作り」係、または

②「11月5日ファミリーで勾玉作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)

ボランティア室



*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*👉は「ヒアリンググループ」対応のイベントです。



トナーハク研究員のお仕事 が知りたいほ！

研究だけが、研究員の仕事ではありません。

「じゃあ、普段は何をしているんだほ？」とギモンに思ったトナーハクくんが、彫刻担当の西木研究員の1日取材してきました。

ある日の西木研究員

9:00 出勤 おはようございます

10:00～12:00 「運慶」展打合せ

特別展担当の1人として、展覧会準備を行っています。この日は作品をどのように展示するか、打合せです。ほかにも作品の借用や調査など、特別展準備は多岐にわたります。



12:00～13:00 昼休み 私はお弁当派です

14:00～14:30 ギャラリートーク

作品を扱うだけではなく、教育普及も仕事のひとつ。トナーハクでは、1年に1～2回程度、ギャラリートークや講演会など来館者向けに作品や展示についてお話しています。



15:00～16:30 所蔵品の調査

日頃から所蔵品について研究したり、自身の研究を進めるために、外部へ調査に行くこともあります。この日は東洋館12室で展示する(9月5日(火)～10月15日(日))作品の調査をしました。



17:00～18:30 展示案作り

所蔵品の管理・展示は、博物館の研究員の重要な仕事です。現在は、本館14室の特集「運慶の後継者たち一康門と善派を中心に」(8月29日(火)～12月3日(日))の展示作品をリストアップしているところです。ちなみに、展示替えは休館日に丸1日かけて行っているんですよ。



19:00 退勤 お疲れさまでした



ほー！研究員さんっていろんなことをやってるんだほ。



専門性が求められるだけではなく、総合的にトナーハクをより良い博物館にしていけるのがお仕事なのね。



みんなに「トナーハクっていいね」って言ってもらえるよう、ぼくたちも広報大使のおしごと、がんばるほ！

博物館で野外シネマ

屋外で、しかも夜の博物館で映画鑑賞はいかがですか？ 毎年大好評のイベントを、今年も移動映画館キノ・イグルーと共催で行います。また、当日は22:00まで開館しているため、映画上映後でも展示をご覧いただけます。

日時: 9月22日(金)・23日(土・祝) 19:00～

上映作品: 決定次第、当館ウェブサイトでお知らせします。

会場: 本館前(雨天時は中止)

申込み: 事前申込不要、当日直接会場にお越しください。

料金: 無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、当日の入館料が必要)

*当日は特別夜間開館のため22:00まで開館



第14回 台東区の伝統工芸職人展

東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。今年も様々な分野の職人による製作実演を行います。下町の歴史と風土の中で生まれ受け継がれてきた、職人の本物の技と手づくりのぬくもりをご覧ください。

日時: 9月13日(水)～18日(月・祝)
9:30～17:00

会場: 平成館ラウンジ

料金: 無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、当日の入館料が必要)

主催: 台東区

共催: 東京国立博物館

協力: 台東区伝統工芸振興会、台東伝統文化振興会

お問合せ: 台東区役所文化産業観光部産業振興課

TEL 03-5246-1131 ※土・日曜、祝日は除く



プレミアム・フライデー@トーハク

8月「トーハク BEER NIGHT!」

特別展「タイ ～仏の国の輝き～」(→2ページ)に関連し、タイ料理など屋台のほか、樽出しの「シンハービール」も出店します。

日時: 8月25日(金)・26日(土) 16:00～20:30

会場: 平成館前庭(荒天時は中止)

お問合せ: TEL 03-3822-1111(代) イベント担当

*詳細は当館ウェブサイトなどでお知らせします。

8月「東博納涼怪談」

日時: 8月25日(金) 18:30～19:30(18:00開場)

会場: 平成館大講堂 定員: 380名(先着順)

出演: 入船亭遊京、翁家和助・小花、入船亭扇遊

料金: 500円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

*チケットは当日17:30より大講堂前で販売。



入船亭扇遊

9月「気軽に椅子ヨガ in 東洋館」

東洋館で作品に囲まれながら、椅子に座ってできるヨガを体験してみませんか。

日時: 9月29日(金)

①18:00～②18:30～③19:00～④19:30～ *各回15分程度

定員: 各回20名(先着順) 会場: 東洋館1室

参加費: 無料(ただし、当日の入館料が必要) 講師: 渡辺美保

「ゆるキャラ® グランプリ2017」にエントリー!

トーハクくんとユリノキちゃんが「ゆるキャラ® グランプリ2017」にエントリーしました(エントリーNo.195)。

投票期間は8月1日(火) 10:00～11月10日(金) 18:00。毎日1回投票が可能です!

オフィシャルウェブサイト <http://www.yurugp.jp/>



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2017年7月11日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
日本通運株式会社 美術品事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様

株式会社 グラスパウハー・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キョーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
一般社団法人 学会 様

個人

プレミアム会員	高橋 守 様	網村 安代 様	田中 望 様	今里 美幸 様	阿部 和加子 様	井出 宗則 様	伊藤 彰信 様	武井 伸之 様	岩佐 恵子 様	庄司 浩 様	本保 順子 様
岩間 良孝 様	小澤 桂一 様	臼井 生三 様	三井 遠雄 様	楠 富久美 様	節田 久子 様	土屋 和彦 様	小林 浩和 様	羽石 史生 様	向山 裕子 様	三宮 信秀 様	佐藤 はるみ 様
	上久保 のり子 様	津久井 秀郎 様	坂詰 貴司 様	櫻井 恵 様	井茂 圭樹 様	碓田 榮一 様	加藤 正叙 様	前田 寿子 様	上島 啓祿 様	大貫 健司 様	面田 大介 様
特別会員	柳田 良豊 様	川澄 祐勝 様	吉田 靖 様	加藤 孝明 様	高味 良信 様	加納 人 様	蔵口 真理 様	笠原 勉 様	田中 真知子 様	中井 健二 様	佐藤 義昭 様
永久 幸範 様	長谷川 英樹 様	神通 豊 様	松本 雅彦 様	伊佐 健二 様	廣田 雅 様	林 和人 様	宮下 雅博 様	小河 恭子 様	高田 明典 様	石井 延隆 様	三浦 邦夫 様
辻 泰二 様	池田 孝一 様	神通 豊一 様	篠田 喜弘 様	軽部 由香 様	杉山 泰規 様	清水 透石 様	田代 雅彦 様	田中 三子 様	根岸 順 様	佐々木 裕明 様	近藤 雅美 様
谷川 紀彦 様	木村 剛 様	石川 公子 様	片山 正紀 様	木越 純 様	笹森 美子 様	野村 陽代 様	昆 茂彦 様	黒河 英俊 様	小野 透 様	鶴谷 舞 様	桑田 啓一 様
佐久間 基晴 様	観世 あすか 様	伊藤 喜雄 様	永田 実香 様	井上 保 様	高橋 明子 様	福田 倫子 様	高橋 薫 様	廣瀬 敬章 様	竹中 洋介 様	原田 清朗 様	長谷川 里津子 様
田中 将介 様	星 由尚 様	西岡 康宏 様	細川 要子 様	田中 信 様	高橋 泰博 様	佐藤 美善 様	清田 志郎 様	北田 俊也 様	脇 素一郎 様	横田 泰三 様	瀧本 靖子 様
井田 悦郎 様	渡辺 章 様	友景 紀子 様	錦織 伸一 様	岡 靖子 様	星 八郎 様	青山 慶示 様	佐野 淑子 様	若本 みち子 様	本條 陽子 様	和田 文彦 様	大類 泰郎 様
大山 孝良 様	稲垣 哲行 様	東野 治之 様	鈴木 幸一 様	古川 晴紀 様	西永 義久 様	谷内 英一 様	堀川 佳津美 様	堀川 佳津美 様	福井 一夫 様	北山 卓 様	岩井 順一 様
	飯岡 雄一 様	竹下 佳宏 様	秋元 文子 様	新関 日出夫 様	木下 茂子 様	樋口 順一 様	菅野 良子 様	瀧本 萬 様	石田 勝世 様	荒井 淳子 様	藤本 久子 様
維持会員	高瀬 正樹 様	松原 聡 様	土師 昭三 様	岩本 光雄 様	田浦 宏己 様	吉原 喜代子 様	中島 米治郎 様	秋元 幸雄 様	山神 宏司 様	伊藤 達次郎 様	高木 弘司 様
伊藤 信彦 様	寺浦 信之 様	上塚 建次 様	山本 隆幸 様	山本 隆幸 様	山中 翠谷 様	中山 安弘 様	中山 安弘 様	中山 安弘 様	長井 真理 様	宮森 景子 様	仲田 雅也 様
数内 匠人 様	高木 美華子 様	坂田 浩一 様	鏡 賢志 様	山上 知子 様	荒木 章 様	長嶋 益子 様	神田 晴生 様	鈴木 健之 様	森本 文子 様	金光 秀行 様	伊藤 翔司 様
服部 悦子 様	吉原 知良 様	池谷 正夫 様	鏡口 圭也 様	名取 孝二 様	関口 大志 様	富山 仁美 様	森本 文子 様	野田 和佳子 様	森本 文子 様	田原 孝子 様	石井 誠一郎 様
岩沢 重美 様	古屋 光夫 様	秦 芳彦 様	渡邊 雪絵 様	増淵 信義 様	柳村 衛 様	高山 真行 様	石飛 博光 様	水田 涉子 様	牧 佳子 様	田頭 敦子 様	宮森 景子 様
高田 朝子 様	根田 穂美子 様	木谷 昌巳郎 様	佐藤 裕一 様	要 英範 様	柳澤 剛志 様	渡辺 美穂 様	清原 真里 様	吉原 剛一 様	南 佳菜子 様	佐 裕子 様	那須野 さや 様
齋藤 京子 様	松本 澄子 様	渡久地 ツル子 様	田中 榮二 様	安田 格 様	日向 志乃 様	渡辺 深美 様	角田 保行 様	吉原 剛一 様	沖 斗南 様	大田 昌江 様	ほかに127名2社、順不同
齋藤 邦裕 様	是常 博 様	汐崎 浩正 様	山口 隆司 様	筑紫 みづえ 様	松前 達郎 様	今村 正 様	金光 真佐一 様	本吉 丈夫 様	重田 綾子 様	沼尻 昭雄 様	小森 義記 様
和田 喜美子 様	上野 孝一 様	平井 千恵子 様	原 一之 様	鳥山 玲 様	佐藤 貴士 様	供田 扶美 様	田辺 修一 様	重田 綾子 様	五嶋 滋之 様	小森 義記 様	佐藤 直哉 様
藤原 喜立 様	青山 道夫 様	会田 健一 様	相良 多恵子 様	栗山 哲夫 様	横田 隆義 様	五嶋 滋之 様	水野 和良 様	竹内 明世 様	竹内 明世 様	山見 勝彦 様	志士 嘉 様
中川 俊光 様	山田 泰子 様	田中 千秋 様	小西 時也 様	榎本 享世 様	岡田 良雄 様	岡野 一昭 様	平田 恭之 様	柴 啓介 様	柴 啓介 様		
関谷 徳衛 様	柴田 陸子 様	鈴木 徹 様									



ラオス山中の講義



近ごろは、研究の関心が高じて、時間があれば東南アジアあたりの少数民族の村々を歴訪しています。そんな旅のなか、ラオスの山中で、とある小さな村に立ち寄りしました。その村では2つの民族が暮らしており、言葉・服飾・家屋など、それぞれの文化をきちんと保持しながら共生しています。村長は30代くらいの青年でした。聞いてみると、村長の資質は3つ。①両民族の言葉を話せて、②両民族を差別せずに、③村の事業をする時には富者からは多く募って貧者からは少しを取ることでできる人だそうです。シンプルですが、心にひびく政治学の講義でした。

(猪熊兼樹)

ミュージアムグッズプレゼント

7月より当館ミュージアムショップで販売中の「トーハクくん・ユリノキちゃんコースター」(3枚1組)を20名様に2セットずつプレゼントします。締切は10月10日(火)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係

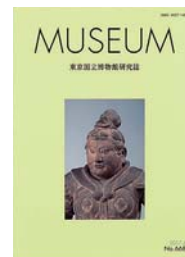


『MUSEUM』668号(2017年6月15日発行)の掲載論文

- ①「願成就院毘沙門天像邪鬼の邪鬼造形史上の意義」
山田美季(東京藝術大学大学院博士後期課程)
- ②「滋賀・鶏足寺の天台系七仏薬師如来像」
西木政統(当館貸与特別観覧室研究員)
- ③「曹源寺十二神将像小考」
奥 健夫(文化庁主任文化財調査官)

お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(TEL: 03-5244-5723)

定価: 1,543円(税込)



TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品『DOGU 縄文図鑑でめぐる旅』

約1万3千年前から1万年ほど続いた縄文時代、人々はどんな生活をしていたのでしょうか? 文字もない縄文時代の生活を知るためには、土の中から出てきた土器や石器、そして土偶を調べ、想像力を働かせることが必要です。シアターで考古学者ならではのとおきの楽しみ方をご紹介します。一緒に展示室をもっと楽しんでみませんか。さあ、縄文図鑑を開いて、縄文時代への旅へと出かけましょう。

料金: 一般・大学生・高校生: 500円、小学生・中学生: 300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名: 無料(1作品/1回あたり)

*子どもウェルカムキャンペーン:

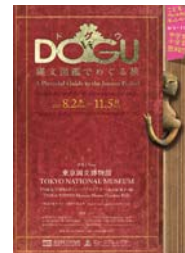
8月2日(水)~11月5日(日)は小・中学生は鑑賞無料です。

*総合文化展とセット購入で一般: 1,000円/大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30 ~ 17:00(入館は閉館の30分前まで)

●土・金・土曜日および11月2日(木)は21:00まで

●9月までの日曜・祝日は18:00まで

●9月22日(金)・23日(土・祝)は22:00まで

●いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日

(祝日・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)

年末年始

(12月26日(火)~2018年1月1日(月・祝))

●8月14日(月)、10月10日(火)、12月25日(月)、2018年3月26日(月)は開館

●12月12日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

●敬老の日(9月18日(月・祝))は、総合文化展のみ無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度(2017年4月からの新制度)

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効

年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効

年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効

年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読

年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は9月10日(日)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名: 東京国立博物館会員制度

口座番号: 00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、は当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代)総務課会員制度担当

*月曜~金曜日の9:30 ~ 17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

1 火	親子のギャラリー「びょうぶとあそぶ」 特別展「タイ ～仏の国の輝き～」	
2 水		
3 木	東 11:00	
4 金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00 G「甦る飛鳥時代の白虎!」18:30 法隆寺宝物館第6室	
5 土	夜間開館 (21:00まで) 【タイ】講「仏の国の歩み」13:30 平成館大講堂 本 14:00	
6 日	時間延長 (18:00まで) 作 13:30 考 14:30	
7 月	休館日	
8 火		
9 水		
10 木	藝W「古典紅型のトートバッグを作ろう」13:00	
11 金・祝	夜間開館 (21:00まで) 【タイ】「タイ舞踊を体験してみよう!」 14:00 平成館大講堂 英 14:00	
12 土	夜間開館 (21:00まで) 講「聖徳太子の伝説と法隆寺献納宝物」13:30 平成館大講堂 陶 14:30	
13 日	時間延長 (18:00まで) W 10:00 近 13:00	
14 月		
15 火		
16 水		
17 木	彫 15:00	
18 金	夜間開館 (21:00まで)	
19 土	夜間開館 (21:00まで) 本 14:00 法 15:00	
20 日	時間延長 (18:00まで) W 10:00 東 11:00 英 11:00 浮 14:00 考 14:30	
21 月	休館日	
22 火	藝W「彫って・染めて 古典紅型を体験しよう」13:00 G「金石に魅せられた書人たち」14:00 東洋館8室	
23 水		
24 木	本 14:00	
25 金	夜間開館 (21:00まで) ★「トーハク BEER NIGHT!」16:00～ 20:30 平成館前庭 ★「東博納涼怪談」18:30 平成館大講堂	
26 土	夜間開館 (21:00まで) 刀 13:30 ★「トーハク BEER NIGHT!」16:00～20:30 平成館前庭	
27 日	時間延長 (18:00まで) 法 13:00 彫 15:00	
28 月	休館日	
29 火	G「江戸初期の三筆 近衛信尹の書」14:00 本館特別1室	
30 水		
31 木		

1 金	夜間開館 (21:00まで) 法 15:00	
2 土	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00 ♥ 11:00、13:00、15:00 本館前	
3 日	時間延長 (18:00まで) 作 13:30 考 14:30	
4 月	休館日	
5 火	樹 11:00	
6 水	樹 スペシャルツアー「俑の魅力を探る旅」14:00	
7 木	樹 東 11:00	
8 金	夜間開館 (21:00まで) 英 14:00 樹 コムズの演奏 15:00、17:00 東洋館1室	
9 土	夜間開館 (21:00まで) 樹 スペシャルツアー「南極聖人の奇妙な旅」14:00 陶 14:30	
10 日	時間延長 (18:00まで) 樹 彫 11:00 近 13:00 樹 スペシャルツアー「呪 いのパワーを探る旅」14:00 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室	
11 月	休館日	
12 火	樹 スペシャルツアー「幻獣を探る旅」14:00	
13 水	台東区の伝統工芸職人展	
14 木	樹 11:00 樹 中国琵琶の演奏 13:30、15:30 東洋館1室	
15 金	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 樹 スペシャルツアー「不思議なマネーを探る旅」18:30	
16 土	夜間開館 (21:00まで) 樹 11:00 本 14:00 法 15:00 樹 スペシャルツアー「この世とあの世をめぐる旅」18:30	
17 日	時間延長 (18:00まで) 樹 東 11:00 英 11:00 茶 11:00、13:00 浮 14:00 考 14:30 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室	
18 月・祝	時間延長 (18:00まで) 総合文化展無料観覧日 樹 スペシャルツアー「願いを叶え る仏像の旅」14:00 樹 W「ナイト・ミュージアム」18:00 秋のコンサート 18:30 法隆寺宝物館エントランス*1 ♥ 11:00、13:00、15:00 本館前	
19 火	休館日 秋のコンサート 18:30 法隆寺宝物館エントランス*1	
20 水		
21 木	彫 15:00	
22 金	特別夜間開館 (22:00まで) 博物館で野外シネマ 19:00 本館前*2 ♥ 11:00、13:00、15:00 本館前	
23 土・祝	特別夜間開館 (22:00まで) 刀 13:30 博物館で野外シネマ 19:00 本館前*2	
24 日	時間延長 (18:00まで) 法 13:00 彫 15:00 藝「紅型ができるまで」15:30 本館19室	
25 月	休館日	
26 火	G「浮世絵の歴史」14:00 本館10室	
27 水		
28 木	本 14:00	
29 金	夜間開館 (21:00まで) 樹 ★「気軽に椅子ヨガ in 東洋館」 18:00、18:30、19:00、19:30 東洋館1室	
30 土	夜間開館 (21:00まで) 講「唐三彩」13:30 平成館大講堂 (11/26まで) (11/26まで) (10/15まで)	
31 日		

【タイ】＝特別展「タイ ～仏の国の輝き～」関連事業(→2ページ) 樹＝「博物館でアジアの旅」関連事業(→4・5ページ) ★＝「プレミアム・フライデー@トーハク」(→14ページ) *1＝有料イベント。詳細は当館ウェブサイト *2＝詳細は14ページ ♥＝トーハクくん&ユリノキちゃん登場日

講＝月例講演会等、詳細は12ページ(特別展関連事業→2ページ)
G＝ギャラリートーク、詳細は12ページ
W＝ワークショップ、詳細は12ページ(8月13日(日)・20日(日)の申込みは締め切りしました)
♥＝託児サービス実施日(12:30～15:30)、事前予約制、有料
作＝ボランティアによるアートスタジオ、事前申込制、詳細は本誌前号12ページ(※8月6日(日)の申込みは締め切りしました)
本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合：本館エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合：本館エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合：本館エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合：本館エントランス、9月10日(日)は東洋館エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー(※8月は休止)、集合：本館エントランス
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合：平成館考古展示室入口
英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合：本館エントランス

茶＝ボランティアによる応挙館での茶会(※8月は休止)、集合：本館エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、先着15名)
庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー(※8月は休止)、集合：本館エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)
建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー(※8月は休止)、集合：本館エントランス
近＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合：本館エントランス
刀＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合：本館エントランス
東＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合：東洋館エントランス(8月は「仏像の旅」、9月は「東洋館ハイライト」)
法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合：法隆寺宝物館エントランス
藝＝藝大大学院インターンによるギャラリートーク(詳細は12ページ)
藝W＝藝大大学院インターンによるワークショップ、事前申込制(申込みは締め切りしました)
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります